

特集

効果的な授業の工夫としての
e ラーニングの可能性

e ラーニングは看護教育の抱える問題をどう解決するか

真嶋由貴恵

CanGo 開発の経緯と運用の実例

真嶋由貴恵／中村裕美子

自己学習、対面講義・実習の時間確保のための e ラーニング

佐藤重紀

自学自習を促進するための e ラーニング

吉川千鶴子

看護専門学校における e ラーニングの導入例

溝道裕子

ゼロからの e ラーニング導入

金子大輔／村上正行

「e スクール」にみる e ラーニングの可能性

西村昭治

【連載】

心一文字・2 園家文苑＋水戸優子

ナースよ、リアリストたれ！ 中西睦子が語る看護と教育・2 松澤和正／中西睦子

看護実践力を育む教育方法の開発 日本赤十字広島看護大学の試み・7 迫田綾子

看護学校管理・運営のための 12 のポイント・11 江川万千代

看護教育に協同学習法を取り入れる・11 緒方巧

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・14 片山紀子

Mail From USA —『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・58 榎原優花

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●「授業研究していますか？」との問いへの答えで多かったのは「研究授業ならしていますが……」というものでした。「授業を分析して、次の授業に活かす」ということにおいては同じようにもみえますが、大きな違いは、その結果を公に発表しようとするかどうかかもしれません。●今回の特集の川口先生のお原稿にあったように、研究発表のなかで授業研究が占める割合は大きくありません。先に書いたように「研究授業」は多くの現場で行われているはずなのに、です。多くの先生方が熱心に取り組んだ「研究授業」の経過や成果を、「授業研究」として認識しないのは、あまりにもったいないのではないのでしょうか。●吉崎先生のお原稿にあるように、教育界においては、日本の「授業研究」は、世界に大きな影響を与えています。ぜひ看護教育界においても、それに続いてほしいと思います。 …大野

●自分も何か身近なものを研究してみようと考えていたところに、出版健保の広報誌が届きました。今回のテーマは「健康づくりのために身体活動」。1週間合計23メッツ・時の活動が目標」と、ふむふむ。さっそく自分の身体活動量を評価してみます。メッツ表で推定するに、今朝の活動量は……「24メッツ・時」。どうやら今週の目標はクリアしたようです。試みに直近1か月分の活動を調べてみると、控えめに見積もっても35週間分になりました。どうりでお腹がすくわけです。●さて得られた結果を日々の仕事に生かすには……。はい、テーマ設定から間違っていました。やはり研究は奥が深いですね。そういえば、大学を卒業してから研究能力なるものを求められた記憶がありません。あれ、看護職に研究能力が必要なのはなぜでしたっけ。次はこのテーマを研究することになります。 …加藤

看護教育 第55巻 第1号 2014年1月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

(1部)定価: 本体1,400円＋税 2014年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子版16,570円、冊子＋電子版／個人19,570円、冊子＋電子版／共有22,100円、電子版／個人16,570円、

電子版／共有19,100円(いずれも税込、送料弊社負担)

※上記は2014年3月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です(2014年3月ご購入開始分まで適用)。

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社) 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/14/ ¥250/ 論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,400 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.54 No.12

2013 年 12 月
特集

移動介助技術の指導方法 ボディメカニクスを実践に活かす

看護師にとって腰痛予防は大きな課題であり、基礎教育のうちに適切な移動介助技術を学び、身につけることは、入職後に身体を守るために非常に重要です。この移動介助技術にはさまざまな方法論がありますが、最も大切な原理原則はすべてに共通しています。しかし、なかには流行りの方法論の表面的な新しさにばかり注目して導入が決められ、しばらく経つと「効果が出なかったから」といってやめてしまうということもあるようです。よくよく聞いてみると、当たり前の原則を怠って、その方法に特徴的な部分だけをなぞっていたということがわかったりします。今回の特集では、看護で用いられる介助技術の原理原則として、今一度「ボディメカニクス」に立ち返ります。なぜ重心を下げるのでしょうか。支持基底面を広げると、何がよいのでしょうか。また、この原則にはどんな限界があり、それはいかにして乗り越えることができるのでしょうか。まずは人間工学の視点からの解説でポイントを整理し、そのうえで実践に活かすための学生指導にふれることで、どのような方法論の指導にも通じる強固な土台をつくっていただければと思います。

- 移動・回旋動作のボディメカニクスの基本原理……………小川鎮一
- ボディメカニクスを意識化した看護動作の教育活動……………水戸優子
- ボディメカニクスから学ぶ転倒・転落の危険と安全確保……………鈴木ひとみ・十九百君子
- ボディメカニクスの限界をどう超えるのか——ひとの自然な動きを支援する視点と可能性……………鈴木和代・若村智子
- 車椅子移乗介助の技術教育におけるボディメカニクスの再考……………平田美和
- 道具を活用した移乗介助のボディメカニクス——他職種との連携を視野に入れた教育……………西田直子・富田川智志
- 手すりを使ったトイレ内の移乗動作のボディメカニクス……………國澤尚子



Vol.54 No.11

2013 年 11 月
特集

助産師教育の現状と課題

看護師になる道が多岐にわたっているのと同様に、助産師になるのにもさまざまな課程があります。看護教育の4年制化推進の影響もあり、大学の専攻科や大学院で学ぶコースが増えています。また、専門学校の助産課程の存在感も薄れてはいません。進学者の経済的背景がさまざま、それに応えるべく資格取得への道がまたさまざまであっても、助産師になりたいというモチベーションの高さは同じであり、そのために学ばなくてはならないことも同じ。ならば、それぞれのコースの特徴はどのようなものなのでしょうか？ 今回の特集は、看護教育のなかでも専門性が高いといわれる助産師教育が現在抱えている問題と今後の展望について、さまざまな課程の筆者に分析・提言していただき、助産師教育の現状を、直接それにかかわらない教員にも知っていただくように組まれたものです。最も歴史のある「専門」看護師である助産師の教育を知ること、今後の卒業生の進路選択の参考にしていただければと願っています。

- 助産師教育の変遷といま……………村上明美
- 大学での助産師教育……………渡邊典子
- 大学で看護と助産の両方を学ぶということ……………村上明美
- 大学助産学専攻科での助産師教育……………高田昌代
- 大学院での助産師教育の意義……………北川眞理子
- 助産専門学校での教育の特徴とその意義……………倉本孝子
- 助産実習の現状と課題——受け入れる立場から……………大野芳江・馬目裕子・竹内幸枝



【2013 年 10 月号 (Vol.54 No.10)】

対話のスキルを
教育に活かす！

【2013 年 7 月号 (Vol.54 No.7)】

スマホ時代のリスク管理——
情報リテラシーを育みトラブルを防ぐ

【2013 年 9 月号 (Vol.54 No.9)】

2014 年の国試に向けて
できること

【2013 年 6 月号 (Vol.54 No.6)】

クリティカルシンキングは
終わらない

【2013 年 8 月号 (Vol.54 No.8)】

教育の質を高める学習方法
いまから始める協同学習

【2013 年 5 月号 (Vol.54 No.5)】

「狙い」に合わせた
シミュレーション教育の方法

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2011 年 11 月号 (Vol. 52, No.11) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2011 年 12 月号 (Vol. 52, No.12) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。